

参加者から寄せられた手紙と感想

2022年9月25日に兵庫県姫路市で開催した「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」に参加した生徒たちから後日、大隅先生宛に手紙が寄せられました。講演やその後の1対1の質問の場などの感想で、ここにその一部を紹介します。(氏名、校名は伏せてあります)

- ◇ 「大隅先生の、他の人と違うことをしよう、という言葉が印象に残りました。流行に流されることなく、自分の人生を生きることができると思いました。メリハリをつけるのも重要なんだと感じました。自分も何かメリハリをつけて、人と違うことで成功できれば良いなと思います。
梅園良彦先生の講演を聞いてプラナリアに興味を持ち、その後、科学体験ブースで実際にプラナリアを見ることができました。綺麗な川ならどこにでもいると聞いたので、今度、捕まえたいです。
近藤侑貴研究室(神戸大学)の実験ブースでは人工的に織管束を作り、それが紙などの原料になると聞いて興味を持ちました。全部の体験ブースを見て体験したかったのですが、時間が足りず残念でした」(中学2年、N.S)
- ◇ 「ノーベル賞を受賞した方に会えるなんて・・・と思い少しばかり緊張もし、同時に楽しみでもありましたが、いざ会ってみると案外気さくな方で一気に緊張が解けました。やる気が出ない時にやる気を出す方法を聞いてなるほど、と深く納得しました。先生のおっしゃった、その勉強をしている時が楽しく思えるまで勉強してみる、ということを実践して見ようと思います。小さな気づき、発見を大切に、情報に流されずに自分の可能性を大切にできる人になりたいと思います」(中学2年、Y.W)
- ◇ 「西村いくこ先生の植物の立ち方は、具体例を用いて説明いただいたのでとてもわかりやすかったです。梅園先生のプラナリアの再生能力のことも、理科が苦手な僕にでもわかりやすい具体例を用いていただいたので面白かったです。大隅先生の、人と違うことを恐れずに自分らしく生きる、というアドバイスを心に止めて生活しようと思います」(高校1年、K.N)
- ◇ 「苦手な勉強への上手なやり方などを教えていただき、とても参考になりました。科学体験ブースでは普段、みることのできないものを見せてもらって本当に貴重な体験でした」(中学1年、Y.S)
- ◇ 「僕の兄はどんなことにも興味を示し、調べて追求します。なんでもよく知っています。僕は、知りたい、という気持ちが兄ほどおこらないので、これからどのようにすればいいか見当もつきません。しかし大隅先生の、高校までは勉強を頑張りなさい、苦手な教科でも生きる上で必要、という教えを忘れずに頑張っていきます」(高校2年、M.D)
- ◇ 「専門的なお話だけでなく日常生活の中での悩みに対してもこころよくお答えいただきありがとうございます。先生のおっしゃっていた通り、何事にも自信を持って取り組んでいこうと思っています」(中学1年、K.T)

以下は終了後のアンケートに寄せられた多数の回答の中から抜き出した感想です。

- ◇ 自分は高校で生物を選択していて今日の話聞いて先生の言っていることで少し不思議に思ったことを自分でこれから詳しく調べようと思えるようになり、帰ってできそうな観察は自分でしてみようと思えるようになった。(高校生)
- ◇ とても興味深いものばかりでした！私のまだ知らなかった話をいろいろと聞くことができてすごく勉強になりました。心に残ったのは大隅先生の「失敗からどう学ぶか」です。私もこれからそれを大切にして何事にも挑戦をしていこうと思います。(高校生)
- ◇ 生物学について興味があまりなかったのですが、植物もプラナリアなどの動物も複雑な構造をした器官や細胞が理論立ててうごいているのがわかっておどろきました。観察だけでおならず、そこから問題点を見つけ、行動を起こすことが大事だとわかりました。失敗から学ぶことができるので、本当の意味での失敗はないという言葉聞いてすごいと思いました。ありがとうございました。(高校生)
- ◇ 興味深い数々の実験結果をお聞きできて良かったです。成人した今、お伺いしてとてもおもしろく感じました。また、子どもでの学びへの向き合い方(ムダと決めつけない、幅広く学ぶ等)をお話いただいたのも良かったです。(保護者)